

作成日:

↑団体名をご記入ください

■会員数と動向

所属会員数 名 ※2013年度末
 前年度増減 名 ※入会者 約 名 退会者 約 名
 増減の要因

活動会員比率 % ※年1度以上 イベント・ボランティア等参加・寄稿などされる方
 世代構成・地域

■運営について

スタッフ数 名 運営会議の頻度(年 回)
 予算規模 万円 運営情報の公開(有・無 方法…)
 スポンサーシップ

■実施事業

	状況	頻度	備考/自由記入
交流会・パーティー等			
茶話会・懇談会等			
セミナー・演奏会等			
練習・ゲネプロ見学会			
演奏会鑑賞旅行等			
会報発行			※カラー/モノクロ 発行部数 部 年 回 約 頁
楽団グッズ等販売			
その他			
			※”その他”を消して、自由記入してください。

■会員特典

	状況	頻度	備考/自由記入
楽団チケット割引等			
CD,グッズ等提供			
その他			

■楽団支援事業

	状況	頻度	備考/自由記入
寄贈			
ボランティア			
演奏会発行物			
その他			

■共通の質問

Q1:環境、楽団・地域の状況(来場者数・ホール建設・消費増税の影響など)をお聞かせください。

■共通の質問(続き)

Q2:1年間最も進歩した点や力を入れた活動を教えてください。

Q3:現在困っていることを教えてください。

Q4:JOFCに期待する事を教えてください。

■自由記入

■会員数と動向

所属会員数	99名	※2013年度末
前年度増減	5名増	※入会者 8名 退会者 3名
増減の要因	賛助会員割引適用。楽団よりの紹介もあった。入会・退会とも落ち着いている	

活動会員比率	20%	※年1度以上 イベント・ボランティア等参加・寄稿などされる方
世代構成・地域	現役世代が8割で、学生会員はなし。山形県内が70名、首都圏15名など県外にも居住。	

■運営について

スタッフ数	6名	運営会議の頻度(年)	10回
予算規模	18万円	運営情報の公開	(有・無) 方法・・・WEB(パスワード)
スポンサーシップ	なし		

■実施事業

	状況	頻度	備考/自由記入
交流会・パーティー等	実施中	年四回	楽団と合同のBBQ(春)、芋煮会(秋)、忘年会(冬)、総会の懇親会を開催
茶話会・懇談会等	検討中		ファンクラブ主催による演奏会ごとの交流会はなし
セミナー・演奏会等	検討中		総会での室内楽演奏が好評で、定期開催の検討が始まった。
練習・ゲネプロ見学会	実施中	年11回	定期演奏会ごとに実施しているが、参加者が伸び悩んでいる。
演奏会鑑賞旅行等			特に企画はないが、6月東京公演には20名近く集合した
会報発行	実施中	年2回	※モノクロ 発行部数300部 年2回 約10頁
楽団グッズ等販売	検討中		楽団事務局より提案あり。
シーティング発行	実施中	年4回	県外公演・他オーケストラとの合同演奏会でシーティングイラストを発行

■会員特典

	状況	頻度	備考/自由記入
楽団チケット割引等	実施中	定期ごと	賛助会員制度の団体割引が適用。定演8回が17000円に。
CD,グッズ等提供			実施なし

■楽団支援事業

	状況	頻度	備考/自由記入
寄贈	検討中		定期演奏会200回、楽団40周年などで実施。毎年継続へ向け検討中。
ボランティア	実施中	年一回	オーケストラの日(ワークショップ)のボランティア。
演奏会発行物			

■共通の質問

Q1:環境、楽団・地域の状況(来場者数・ホール建設・消費増税の影響など)をお聞かせください。

2014年8月には、隔年開催の"アフィニス夏の音楽祭"が開催。今年度は8年間の"アマデウスの旅"モーツァルト定期の最終年となる。

消費増税にともない、楽団会員制度の値上げが実施された。しかし、併設された団体割引がファンクラブにも適用され、大きな会員特典がスタートした。JOFCの準備を通じて、楽団事務局・楽団ユニオンとの協力関係が育ってきている。

■会員数と動向

所属会員数	99 名	※2013年度末
前年度増減	5 名増	※入会者 8名 退会者 3名
増減の要因	賛助会員割引適用。楽団よりの紹介もあった。入会・退会とも落ち着いている	

活動会員比率	20 %	※年1度以上 イベント・ボランティア等参加・寄稿などされる方
世代構成・地域	現役世代が8割で、学生会員はなし。山形県内が70名、首都圏15名など県外にも居住。	

■運営について

スタッフ数	6 名	運営会議の頻度(年)	10 回
予算規模	18 万円	運営情報の公開	(有・無) 方法・・・WEB(パスワード)
スポンサーシップ	なし		

■実施事業

	状況	頻度	備考/自由記入
交流会・パーティー等	実施中	年四回	楽団と合同のBBQ(春)、芋煮会(秋)、忘年会(冬)、総会の懇親会を開催
茶話会・懇談会等	検討中		ファンクラブ主催による演奏会ごとの交流会はなし
セミナー・演奏会等	検討中		総会での室内楽演奏が好評で、定期開催の検討が始まった。
練習・ゲネプロ見学会	実施中	年11回	定期演奏会ごとに実施しているが、参加者が伸び悩んでいる。
演奏会鑑賞旅行等			特に企画はないが、6月東京公演には20名近く集合した
会報発行	実施中	年2回	※モノクロ 発行部数300部 年2回 約10頁
楽団グッズ等販売	検討中		楽団事務局より提案あり。
シーティング発行	実施中	年4回	県外公演・他オーケストラとの合同演奏会でシーティングイラストを発行

■会員特典

	状況	頻度	備考/自由記入
楽団チケット割引等	実施中	定期ごと	賛助会員制度の団体割引が適用。定演8回が17000円に。
CD,グッズ等提供			実施なし

■楽団支援事業

	状況	頻度	備考/自由記入
寄贈	検討中		定期演奏会200回、楽団40周年などで実施。毎年継続へ向け検討中。
ボランティア	実施中	年一回	オーケストラの日(ワークショップ)のボランティア。
演奏会発行物			

■共通の質問

Q1:環境、楽団・地域の状況(来場者数・ホール建設・消費増税の影響など)をお聞かせください。

2014年8月には、隔年開催の"アフィニス夏の音楽祭"が開催。今年度は8年間の"アマデウスの旅"モーツァルト定期の最終年となる。

消費増税にともない、楽団会員制度の値上げが実施された。しかし、併設された団体割引がファンクラブにも適用され、大きな会員特典がスタートした。JOFCの準備を通じて、楽団事務局・楽団ユニオンとの協力関係が育ってきている。

■会員数と動向

所属会員数	99名	※2013年度末
前年度増減	5名増	※入会者 8名 退会者 3名
増減の要因	賛助会員割引適用。楽団よりの紹介もあった。入会・退会とも落ち着いている	

活動会員比率	20%	※年1度以上 イベント・ボランティア等参加・寄稿などされる方
世代構成・地域	現役世代が8割で、学生会員はなし。山形県内が70名、首都圏15名など県外にも居住。	

■運営について

スタッフ数	6名	運営会議の頻度(年)	10回
予算規模	18万円	運営情報の公開	(有・無) 方法・・・WEB(パスワード)
スポンサーシップ	なし		

■実施事業

	状況	頻度	備考/自由記入
交流会・パーティー等	実施中	年四回	楽団と合同のBBQ(春)、芋煮会(秋)、忘年会(冬)、総会の懇親会を開催
茶話会・懇談会等	検討中		ファンクラブ主催による演奏会ごとの交流会はなし
セミナー・演奏会等	検討中		総会での室内楽演奏が好評で、定期開催の検討が始まった。
練習・ゲネプロ見学会	実施中	年11回	定期演奏会ごとに実施しているが、参加者が伸び悩んでいる。
演奏会鑑賞旅行等			特に企画はないが、6月東京公演には20名近く集合した
会報発行	実施中	年2回	※モノクロ 発行部数300部 年2回 約10頁
楽団グッズ等販売	検討中		楽団事務局より提案あり。
シーティング発行	実施中	年4回	県外公演・他オーケストラとの合同演奏会でシーティングイラストを発行

■会員特典

	状況	頻度	備考/自由記入
楽団チケット割引等	実施中	定期ごと	賛助会員制度の団体割引が適用。定演8回が17000円に。
CD,グッズ等提供			実施なし

■楽団支援事業

	状況	頻度	備考/自由記入
寄贈	検討中		定期演奏会200回、楽団40周年などで実施。毎年継続へ向け検討中。
ボランティア	実施中	年一回	オーケストラの日(ワークショップ)のボランティア。
演奏会発行物			

■共通の質問

Q1:環境、楽団・地域の状況(来場者数・ホール建設・消費増税の影響など)をお聞かせください。

2014年8月には、隔年開催の"アフィニス夏の音楽祭"が開催。今年度は8年間の"アマデウスの旅"モーツァルト定期の最終年となる。

消費増税にともない、楽団会員制度の値上げが実施された。しかし、併設された団体割引がファンクラブにも適用され、大きな会員特典がスタートした。JOFCの準備を通じて、楽団事務局・楽団ユニオンとの協力関係が育ってきている。

記入例

■共通の質問(続き)

Q2: 1年間最も進歩した点や力を入れた活動を教えてください。

JOFC開催準備の他、賛助会員制度の団体割引適用(30名が要件)にむけ、賛助会員入会の呼びかけに活動した。ファンクラブ総会での室内楽の演奏が実現した。

Q3: 現在困っていることを教えてください。

スタッフが現役世代で、それぞれに時間がさげず、事業の継続・発展に困難が生じている。定期演奏会ごとのゲネプロ見学など、イベントの参加者数が伸び悩んでいる。

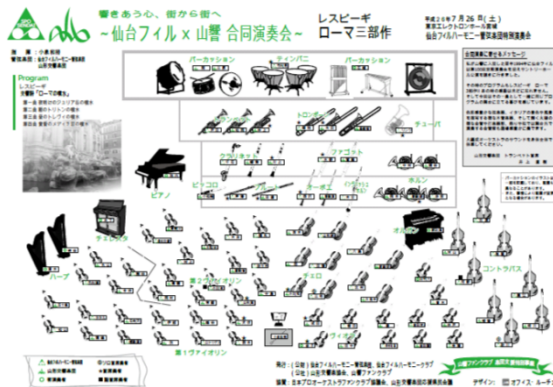
Q4: JOFCに期待する事を教えてください。

仙台フィル・山響合同演奏会でのシーティング発行や、JOFC総会の開催準備に当たり、仙台フィルハーモニークラブ様より多大なご支援を頂いている。会報や、楽団グッズの販売事業などについても、団体を越えた協力を作っていけることを期待している。

■自由記入

●シーティング共同発行

7月26、27日、仙台・山形にて仙台フィル・山響の合同演奏会が開催され、仙台フィルハーモニークラブさまとシーティングの共同発行を実施しました。



※10月の日本センチュリー交響楽団との合同演奏会(“マラー”復活)に関して、センチュリー・ファンクラブとの共同発行を模索。現状はファンの自治組織ではないとのこと。